

# 第29回環境地質学シンポジウム

主催：社会地質学会

共催：日本地質学会，日本鉱物科学会，日本情報地質学会，  
日本第四紀学会，(NPO)日本地質汚染審査機構，  
Japan Chapter of IMGA

後援：IUGS-IFG

期日：2019年11月29日(金)・30日(土)

会場：日本大学文理学部図書館3階オーバル・ホール

(最寄駅：京王線「下高井戸駅」もしくは「桜上水駅」 会場まで各駅から徒歩8分) 地図HP <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>

参加費(論文集込み)：社会地質学会員 4,000円 非会員 6,000円 ←料金を見直し、大幅に割引となりました

\* 非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引 学生 無料(論文集無し)

\*\* CPDの取得が可能です

特別講演：国連環境計画 アジア・太平洋地域事務所 化学物質・廃棄物・大気汚染プログラム

コーディネーター 吉田 鶴子氏

「マルチラテラリズムの危機と環境保全」



開始時間	演題・演者
	11月29日
9:20	開会のあいさつ 村尾 智 社会地質学会会長
	<b>地質汚染、有害地質とその対策</b> 座長：
9:30	有機砒素汚染水田での非汚染米の持続的収穫と汚染土壌について 高島 英世(柳医療地質研究所)・榎山 知代・海老名 邦能・海老名 光彦・海老名 弘美・益子 幸代・ 木村 和也・布施 太郎・楡井 久
9:45	人工地層と地質汚染の評価—兵庫県におけるスラグによる谷埋め造成地の事例— 笠原 茂(㈱メーサイ)
10:00-10:10	セッション討論
	<b>国際協力</b> 座長：
10:10	エンカルジュエリーを中心としたパキスタンの地域コミュニティとの協働 小幡皇子(EARTHRISE Co. Ltd.)
10:25	IUGS-IFGの活動(2016-2019) 杉田 律子(科学警察研究所・ローランス・ドネリー)
10:40-10:50	セッション討論
	<b>地球倫理</b> 座長：
10:50	研究不正と倫理違反 西脇 二一(奈良大学名誉教授)
11:05	鉱物サプライチェーン透明化に資するブロックチェーン活用の可能性 村上 千恵(NPOダイヤモンド・フォー・ピース)
11:20	地球環境科学領域のSDGs志向調査に基づく新たな幸福度指標の提案 駒井 武(東北大学大学院環境科学研究科)・栗田 満瑠・中村 謙吾・保高 徹生
11:35-11:45	セッション討論
11:45-13:00	昼食
13:00-13:30	一日目発表のポスターコアタイム
13:30-14:30	特別講演 国連環境計画 アジア・太平洋地域事務所 化学物質・廃棄物・大気汚染 プログラム コーディネーター 吉田 鶴子氏 「マルチラテラリズムの危機と環境保全」
	<b>地質災害</b> 座長：
14:30	ITRAX 地球化学分析に基づいた歴史津波堆積物の高精度判別手法の開発 山藤 靖一朗(東北大学環境科学研究科)・中村 謙吾・駒井 武
14:45	2019年山形県沖地震とその被害—石造鳥居の被害を中心に— 川辺 孝幸(山形大学名誉教授)
15:00	常時微動H/Vスペクトル比から推定される湘南国際村における伏在断層近傍の地盤構造の特徴 岩瀬 康行(防衛大学校地球海洋学)・小川 万次・村越 匠・坂野 稔久
15:15	2011年東北地方太平洋沖地震時の地波現象について 木村 英人(元東海大学海洋学部海洋資源学)・牧野秀俊
15:30-15:40	セッション討論
	<b>水循環と地下水管理</b> 座長：
15:40	下総台地の井戸にみられた損傷例：2011年東北地方太平洋沖地震の影響について (ポスター紹介) 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・吉田 剛・荻津 達・潮崎 翔一・伊藤 直人
15:45	古地下水水位指標としての古土壌—古琵琶湖層群甲層の例—(ポスター紹介) 葉田野 希(長野県環境保全研究所)・滝口 大智・吉田 孝紀
15:50	広域地下水モデルのパラメータ逆解析—離散化と観測値の精度影響について— 藤崎 克博(環境地質コンサルタント)
16:05	関東地下水盆地の地下水モニタリングシステムの現状 古野 邦雄(元千葉県地質環境研究室)・香川 淳・楡井 久
16:20	神奈川県箱根地域における、地下水・湧水の多変量解析による水質特性の検討 根津 祥太郎(日本大学総合基礎科学研究科)・竹内 真司
16:35	岐阜県阿寺断層周辺の地下水水質に関する検討 日小田 俊介(日本大学文理学部地球科学科)・竹内 真司
16:50	米作りにおける湧水利用—下総台地内の千葉市堂谷津における例— 斎藤 幸—(NPO バランス21)・NPO バランス21・風岡 修
17:05	地下水利用と生態系配慮—和歌山県における圃場整備による地下水変化の事例— 笠原 茂(㈱メーサイ)
17:20-17:30	セッション討論
17:30-17:40	総合討論
17:40-18:00	1日目発表の講演賞・奨励賞表彰

開始時間	演題・演者
	11月30日
	<b>生態系及び鉱物と地質環境</b> 座長：
09:00	陸上鉱床と海底熱水鉱床における風化作用の比較検討と地球化学的影響 初川 悠(山形大学大学院理工学研究科)・林 世峻・中島 和夫
09:15	耕作放棄地(林耕地)を利用した泥発電の検討 前原 日和(第一工業大学工学部)・石本 弘治
09:30	鹿児島県霧島神宮林におけるアカマツ大量枯死の事例研究—ミクロからマクロの実証研究— 福山 厚子(第一工業大学)・田崎 和江・中川恵翔・竹原 照明
09:45-09:55	セッション討論
	<b>【特別セッション】地球科学と人類史</b> 座長：
09:55	【招待講演】歴史から読み解く災害への対応力・復元力 佐藤宏之(鹿児島大学)
10:25	Artisanal and small-scale gold mining at Yamagano district, Kagoshima, Japan: an observation at a workshop ruin Satoshi MURAO(Faculty of Engineering, Daichi Institute of Technology), Yasuhiro HONDA, Ryoji TANAKA, Kazuhide ARIKAWA and Tetsuji OHNO
10:40	山ヶ野金山の鉱山鉄道遺構の歴史研究における3次元モデルの活用 徳田 翔太(第一工業大学)・本田 泰寛・田中 龍児・有川 和秀・村尾 智
10:55	鹿児島県山ヶ野地区の自稼業者が使用した金鉱石処理場の3Dによる復元 有留 光希(第一工業大学)・本田 泰寛・田中 龍児・有川 和秀・村尾 智
11:10	小規模金採掘における多媒体間の物質移動を考慮した水銀の暴露評価 木下 陽仁(東北大学大学院環境科学研究科)・中村 謙吾・駒井 武・児玉 谷仁・富安 卓滋・丸本 幸治・愛澤 秀信・ 野田 和俊
11:25	新潟県佐渡島相川鉱山の江戸時代初期のアマルガム法に関して —その2: アマルガム法(“水銀なかし”)の開始年代— 仲川 隆夫(環境地質研究者)
11:40-11:50	セッション討論
11:50-13:00	昼食
13:00-14:00	<b>社会地質学会総会</b>
14:00-14:30	二日目発表のポスターコアタイム
	<b>地球観測の手法</b> 座長：
14:30	低コストRTK-GNSSによる地形調査の提案 田中 龍児(第一工業大学)・下原 優斗・木場野 修・石澤 直樹・梅木 時文
14:45	泥干潟の地形変化に関する環境要因の検討 秋元 和真(熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター)・日本シニヤ(㈱)・(東陽テクノ)
15:00-15:10	セッション討論
	<b>大地の持続的利用と長期安定性</b> 座長：
15:10	市原市南部における上総層群本層とByk-zoneの分布状況と層相 木村 英人(元東海大学海洋学部海洋資源学)・楡井 久
15:25	東北日本における中期更新世の地殻変動—新潟県と北海道の事例から— 仲川 隆夫(環境地質研究者)
15:40-15:50	セッション討論
	<b>【特別セッション】人工地層と人自不整合</b> 座長：
15:50	人工地層の層相と2011年東北地方太平洋沖地震時に液化化—流動化した部分：東京湾岸埋立地千葉市 高浜でのオールコアボーリング調査から(ポスター紹介) 佐藤 光男(伸光エンジニアリング(株))・風岡 修・室井 純・潮崎 翔一・香川 淳・荻津 達・吉田 剛
15:55	東アジア地質植物園予定地における人自不整合と地質環境 佐藤 信哉(柳医療地質研究所)・木村 和也・高島 英世・益子 幸代・宇沢 昭晃・榎山 知代・楡井 久
16:10	Human-made strata in the vicinity of Ichihara City, Chiba Prefecture, Japan Yayoi YAMADA(Paleo-Kanto Great Depth Submarine Basin Geopark Promotion Council) and Hisashi Nirei
16:25	地理情報システムに関連したデータによる人工地層範囲の検討 田村 嘉之(千葉県環境財団)
16:40	平成30年北海道胆振東部地震での札幌市豊平区・清田区における液化化：流出・噴出した盛土の顕微 鏡観察と粒度分析による発生要因の考察 本合 弘樹(㈱太平洋コンサルタント)・武智 耕太郎・広野 真一
16:55	人工地層の層相と2011年東北地方太平洋沖地震時に液化化—流動化した部分：東京湾岸埋立地浦安 市内でのオールコアボーリング調査から 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・潮崎 翔一・香川 淳・荻津 達・吉田 剛
17:10	人工地層の観察と人為堆積物との比較による層序特性 高嶋 洋(野田市土木部)・楡井 久
17:25	The definition words proposed on Anthropogenic stratigraphy Hisashi NIREI(The Geo-pollution Control Agency, Japan)
17:40-17:50	セッション討論
17:50-18:00	総合討論
18:00-18:20	2日目発表の講演賞・奨励賞表彰・閉会

\* 表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。

\*\* ポスター表記のない発表は口頭発表(持ち時間15分)です。ポスター発表は、その日のポスターコアタイムにポスターの説明と、各セッションの際に5分間スピーチがあります。

\*\*\* 企業展示、本学会の書籍展示・注文などを予定しています。書籍は当日参加者に限り定価の半額にて注文いただけます。

詳細情報等はHP：<http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室気付 社会地質学会 第29回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)